

令和2年度第2回仙北地域協議会会議録

令和2年8月20日

仙北地域協議会

令和2年度第2回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■報告	
(1) 令和2年度地域枠予算申請状況について	2
■協議	
(1) 仙北地域の課題について（防災）	6
■その他	9
■閉会	11
■署名	11

令和2年度 第2回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和2年8月20日（木） 午後2時

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：10名

熊谷孝弘、小松郁子、小柳伸一、佐々木千秋、
佐藤あや子、佐藤尚、須田和久、田村雅史、
中村健秀、藤原稔、

■欠席委員：4名

石田常盤、伊藤歩美、草薨美香、森元通友

■出席職員：6名

竹村由喜美（仙北支所長） 佐藤治彦（農林建設課長）
小松暢子（仙北公民館長） 佐藤湊（仙北公民館主事）
富樫由喜子（地域活性化推進室副主幹） 川原文人（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 報 告
 - 6 協 議
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

(午後 2時 開会)

○中村会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは。暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

盆を過ぎて1週間過ぎましたが、皆さんご存じのとおり、7月に予定していた第2回地域協議会の日に水害が発生しまして、今日に延期となったところで、コロナから水害など、自然には勝てないなと思ったところです。災害については、昨年度の未来を語る会でも題材にされていたように、今はどこでも思いもよらないところで災害が起きてしまうので、対策が活かされる場合もあるかと思いますが、今後また、今回の災害を受け、これからやっていかなければならないことなど予定されているものと思います。

今日は第2回で、新しく入っていただいた方もいらっしゃいますので、忌憚のないご意見などいただきながら、協議を進められればと思います。どうかよろしく願いいたします。

○竹村支所長（以下「支所長」と表記）

おつかれさまです。本日はお忙しいなか第2回仙北地域協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。会長の方からもお話がありましたけれども、本来であれば先月の開催予定でしたが、大雨の翌日となりまして、災害予防調査、被害調査等ありましたので、開催に至りませんでした。その件につきましては、皆様よりご理解をいただきたいと思えます。

本日の会議では、地域枠予算についての報告と、仙北地域の課題として、防災についてご協議いただきたいと思っております。会長の方からもありましたが、今年1月の未来を語る会でも議論いただいたところです。防災については、すぐに解決できる課題ではございませんので、委員の皆様のご意見やご助言を積極的にお聞かせいただければ、と思っております。今日は、少し焦点を小さなところに絞って、ご協議していただく予定しておりますので、よろしく願いいたします。委員の皆さんの、ご理解とご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

この後の進行につきましては、条例の規定により、中村会長よりお願いいたします。

○会長

それでは、次第の4番、会議録署名委員の指名を行います。今回の会議録署名委員は、熊谷委員さんと、小松委員さんをお願いいたします。よろしく願いいたします。

それでは、次第の5番、報告ということで、(1) 令和2年度地域枠予算申請状況について、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

・行政主導型

№. 6 「弘田真山公園内（旧仙北スキー場）管理事業」

事業目的：旧仙北スキー場、真山と長森を行き来できる散策路の一部となっていることから草が生い茂ることで安全が保たれず、また、見た目にも景観を損ねてしまう。年2回草刈りを行うことで回りの景観の調和と安全な環境が保たれることを目的とする。

申請団体：仙北支所農林建設課

申請額：110,000円（委託料）

№. 7 「首都圏仙北町ふるさと会応援事業」

・市民主導型

事業目的：首都圏仙北町ふるさと会を様々な形で応援することによって、ふるさと会活動の活発化に寄与することを目的とする。

申請団体：首都圏仙北町ふるさと会を史跡の里から応援する会

申請額：300,000円（負担金及び補助金）

№. 8 「川口川堤防右岸（谷地村地域）樹木管理事業」

・行政主導型

事業目的：仙北中学校の生徒などが通学路として使用している、谷地村地域の川口川堤防右岸の遊歩道に、樹木の枝が張り出している状況である。これについて、仙北中学校から別紙のとおり要望があったことから、当該樹木の管理を目的とする。

申請団体：仙北支所農林建設課

申請額：157,960円（委託料）

№. 9 「史跡の里づくり事業」

・地域イベント

事業目的：大仙市仙北地区を核とした地域の活性化と地域住民の交流を目指し、この地域の象徴である史跡を題材にまちづくりを行う。

申請団体：史跡の里づくり委員会

申請額：196,000円（負担金及び補助金）

№. 10 「仙北地域PRカレンダー作成事業」

・行政主導型

事業目的：昨年度に引き続き、仙北地域版のカレンダーを製作し、地域住民及び地域内の施設へ配布し、地域への愛着や誇りを持つ心を育む。あわせて、地域外にも配布を行い、地域のPRにつなげる。

申請団体：仙北支所地域活性化推進室

申請額：794,600円（委託料・印刷製本費・消耗品費）

№. 11 「富樫泰時文庫整備事業」

・行政主導型

事業目的：令和元年11月に、高梨地域出身である富樫氏の所有する図書を、生まれ育った仙北地域に寄贈したいという申し出をいただいた。資料や書籍は分散させることなく仙北ふれあい文化センター内に設置することとなり、文庫として整備することで広く市民に閲覧してもらえるようにする。

申請団体：生涯学習課仙北公民館

申請額：315,000円（委託料・印刷製本費）

○会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて、皆さんからご意見、ご質問などいただきたいと思えます。

○藤原稔委員

№. 6 「払田真山公園内管理事業」について確認ですが、遊歩道というからには、スキー場以外の近辺のコースは草刈りいらぬのか。あるいは、どなたかがボランティアでやっているのか。

○事務局（地域活性化推進室）

長森の方については、文化財課でシルバー人材センターに委託して草刈り作業している。スキー場周辺は、特段どこへも委託等作業しておらず、6月に1回目の作業をするというもの。

○藤原稔委員

シルバーの方は、費用発生している？

○事務局（地域活性化推進室）

発生しており、文化財課で支出しています。

○会長

毎年、通年で作業している？

○事務局（地域活性化推進室）

はい。

○田村副会長（以下「副会長」と表記）

№. 7「首都圏仙北町ふるさと会応援事業」について、新型コロナの状況で予定どおり実施するのでしょうか。それとも中止なのか。

○小松仙北公民館長

先日、首都圏仙北町ふるさと会の小松会長から、総会の中止、ということで事務局の方へ連絡があった。通知等はこれから準備するとのこと。

○須田和久委員

ホームページは作らないのですか。

○小松仙北公民館長

ホームページは準備を進めます。

○会長

申請額はそのままですか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい、変更があった場合は、実績報告等で対応としています。

○副会長

他の案件で、中止や延期といったものはないか。

○事務局（地域活性化推進室）

現時点で中止や延期の連絡は入っていない。

○副会長

そうすれば、今のところ平安の柵や冬まつりや開催する、という見通しなのか。

○事務局（地域活性化推進室）

今のところは開催する見込み。

○副会長

分かりました。

○会長

他に何かございませんか。なければ、お気づきの点がございましたら、後ほどでもご質問いただければと思います。次に移ります。

次第の6番、協議「仙北地域の課題（防災）」について、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

協議に入る前に、事務局よりご説明いたします。前回の協議会でもお知らせしたところですが、今年度の地域協議会につきましては、主に地域課題に関する協議をしたいということ考えております。

今回は防災をテーマといたしまして、事務局より現状について説明した後、委員の皆様よりご協議いただきたいと思っております。

それでは、市民サービス課の菅原より、仙北地域の防災について説明いたします。

○市民サービス課・菅原主任

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいま、事務局から説明がありました。地区防災マップについては、2つの予防組合で作成されている、とのことでしたが、消防団仙北支団副支団長の小柳さん、何かご意見などありませんか。

○小柳伸一委員

質問ですが、ここのさくまる館が完成したときから、災害があった場合、避難所としても活用されていることと思いますが、この裏に丸子川があるので、その時は適さないような話を聞いた記憶がある。実際、7月の災害では、避難所として開設され、何人か避難してこられたと伺ったが、それについては、どのように考えていますか。

○市民サービス課・菅原主任

ハザードマップにも記載があるが、仙北地域でもっとも浸水の危険性が少ない避難所として、仙北中学校が挙げられている。仙北中学校では、避難所開設時の発熱の専用窓口も開設すること予定で、先月28日の大雨の災害時は、仙北中学校が最も水害の危険性が少ない避難所として開設した経緯があった。

今回、コロナ禍での避難所運営ということで、どうしても難しい調整となった。コロナ対策も検討したうえで避難体制を構築していきたいと、ご協力をお願いします。

○副会長

氾濫発生の情報について、県と大仙市の食い違いがあったと聞いたが、その後どうなったのか。

○市民サービス課・菅原主任

県の見解と市の見解の相違があった。それについては、総合防災課と県で、今後の発表

のあり方などについて協議していくことと思われる。

○藤原稔委員

以前から防災についていろいろ議論されているところだが、市の防災について、地域協議会で説明ということで、本庁から当時の総合防災課長から来てもらって説明してもらった。その際、神宮寺・刈和野地区の堤防の完備により、下流の方が決壊しない限り、こちらの水位は上がるだろう、という見通しの説明があり、実際にどのくらいの水位上昇があるのか、という質問をした記憶がある。

そこへ、7月28日の夜中から大雨が降り、私の知りうる限りこれまでで一番増水して川が氾濫した。確実にやはり水位は上がっていて、内水も溜まる過去最大の災害が発生したと感じた。幸いにも雨が長続きしなかった、及び雄物川上流の横手・湯沢地区がそんなに降らなかった、ということもあり5・6時間で水が引けたので、普段の災害という感じはしなかったが、自宅近くの八嶋集落は車などが入っていけない、完全に孤立した状態になった。

事務局から災害予防組合の話があったが、実際にどういう単位の集まりで、活動をしていて、今回の災害はどのような動きがあったのかを教えてください。また、孤立した場合の救助するためのボート、資材などはあるのかを確認したい。自宅付近は丸子川と八嶋川の合流地点にあるから、今後ますますその傾向がある地域なので、それに対してどうとらえているかを伺いたい。

○市民サービス課・菅原主任

今回の災害においては、災害予防組合の活動としては細かな活動はあったかもしれないが、市では報告を受けていない。

水害発生時の資材については、ライフジャケットの備蓄がある。ボートについては、準備が整っていない状況。今回は、消防団仙北支団の第2分団から現地に出向き、救助した報告を受けている。

○藤原稔委員

今後の対応策については、考えているのか。

○市民サービス課・菅原主任

丸子川の特に被害が大きかった部分については、河川周りの草木によって河川の流れが遮られている部分が多々確認されているため、県の河川担当と協議し、河川清掃を行う予定。

○支所長

今後の対応については、氾濫した八嶋川の下流、みどり園の東側については、現在無堤防に近い状態ということで堤防を作る計画である。丸子川と川口川の合流地点の東側の堤

防のかさ上げを行う予定だが、すぐにはできないので、当面は土嚢で対応することになっている。先ほど菅原が説明したとおり、丸子川の樹木については伐採、河床の掘削を県から連絡をもらっている。

今回の7月の大雨については藤原委員がおっしゃったとおり、これまでにない大雨が降った。アメダスの観測でも7月28日の朝2時半～3時半までの1時間で51.5ミリという7月の観測史上最大の雨量となった。内水がはけず越水して北川目集落付近が孤立した。

内水の排水対策についても、県と協議のうえ、日頃の管理人をきちんと選定して管理していただくことになっている。排水ポンプについては、仙北自動車学校・沼田および薬師の集落排水施設にはそれぞれ設けており、今後、自動で排水できる設備を整備する計画（仙北自動車学校は整備済み）。

○藤原稔委員

みどり園の南側の改修は急いでもらいたい。

○支所長

県でも把握しているので、実施する計画であるが、時期については約束できていない。

○会長

小柳委員さんからその他ございませんか。

○小柳伸一委員

丸子川の周辺に水門が何か所かあるが、川が増水すると町の方に水が逆流してくるということで、状況に応じて水門を閉めたりするが、管理人があいまいだと聞いている。あまり年配の方だと不安なので、50～60代の方で1～2人ずつ管理する人を決めて委託するなどの仕組みを作っていただきたい。

○支所長

資料として皆様へ配付している「ハザードマップ」は、国の管理河川の浸水想定区域図が100年に1度の大雨から1000年に1度の想定に変更した際に作成したもの。県の管理河川の浸水想定区域図は今年度中に完成すると聞いており、現在、浸水想定されていない地域も浸水する想定となる可能性があり、来年度には新しいハザードマップを作成するという総合防災課の意向である。

災害予防組合に、各地域の防災マップを作成していただきたいということで依頼しているが、現状として2団体しかできていない。先のような大雨だと孤立する集落も発生することから、そこも含めて全部役所ではできないので、どうすれば、災害予防組合の皆様へ作成していただけるか、ということで委員の皆様からご意見を伺いたい。

○佐藤尚委員

防災士の資格をお持ちの方が、もしかすれば各地域にいるかもしれないので、彼らを活用する、というのはどうか。専門的な勉強をして資格を持たれていると思うので。

○支所長

仙北地域に何人防災士がいるか、確認・検討していきたい。

○会長

参考にして進めていただければ、と思います。

次第7 その他について、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

【地域の魅力再発見事業について、配布資料に基づき説明】

○会長

地域の魅力再発見事業ということで、皆様からご意見をいただきたいということですので、難しいとは思いますがぜひ皆さんからご記入いただいて事務局へ提出いただくようお願いしたいと思います。

他に皆様から何かございませんか。

○副会長

エール花火について、大曲の大会提供花火の1.5倍の花火が上がるものと伺っているが、対策を講じているのか。

○支所長

あくまでも子どもたちの学習の一貫、学校行事として、日程は非公表としており、小中学校の児童及び保護者にはお知らせされている。駐車場についても準備し、路上駐車されないように交通指導隊にも依頼する予定と伺っている。

○会長

その他ございませんか。

○藤原稔委員

地域協議会の開催時間について、日中やるのがいいのか、夕方やるのがいいのか分からないが、これまで午後6時から開催してきたと思う。今回、午後2時からとなったが、会社勤めの方は当然出られない、夕方やると職員の方が出なければならず心苦しいということもあるが、今回日中に開催した経緯と、今後の開催時間について確認したい。

○支所長

昨年度は夕方に開催していたが、あまり出席率が良くなかったという状況だったと伺っており、そのように引き継いだことから、1回目から日中の開催としたかったが、コロナの関係で開催できずに5月下旬の田植えの時期の開催となったため、夜の開催となった。今回から日中の開催としたが、事務局としては、たくさんの委員からご出席いただきたく、夜でも日中でも構わないので、皆様の都合がよい時間帯に開催したいと考えている。

○会長

いずれ今後は、この日中の時間に開催する、という方針でよろしいですか。

○支所長

そうです。

○会長

日中の開催となるようですので、来られる方はご参加いただいてご審議くださいますようお願いいたします。

その他ございませんか。

○佐々木千秋委員

地域の魅力再発見事業について、交流人口の拡大や料理教室など、イベントを開催するというのは、このコロナの時期は難しいと思います。柵磨呂くんのかわいいグッズを子どもなどがもらってすごく喜んでいたので、たとえば、そのようなオリジナルグッズの制作事業などでもいいのか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい、そうです。

○会長

その他ございませんか。

○須田和久委員

地域枠予算について、今までは申請が上がってきたものを地域協議会で審査して承認していたものが、今年度から事務局で審査して、こちらには報告、という形式になったのか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい、これまでは地域枠予算の申請内容等について地域協議会で審議を行ってきたが、それに時間が多く割かれてきた。今年度以降は、事務局で審査し、申請状況について地域

協議会で報告することとなり、地域課題などについて皆様からご協議いただくことに時間を割けるようにするために変更したものです。

○藤原稔委員

市全体でそのような方針が変わった、ということですね。

○支所長

そうです。

○須田和久委員

分かりました。

○会長

その他ございませんか。なければ、会を閉じてよろしいでしょうか。

これで、第2回目の地域協議会を閉じたいと思います。おつかれさまでした。

(午後 3時30分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

熊谷孝弘

小松郁子
